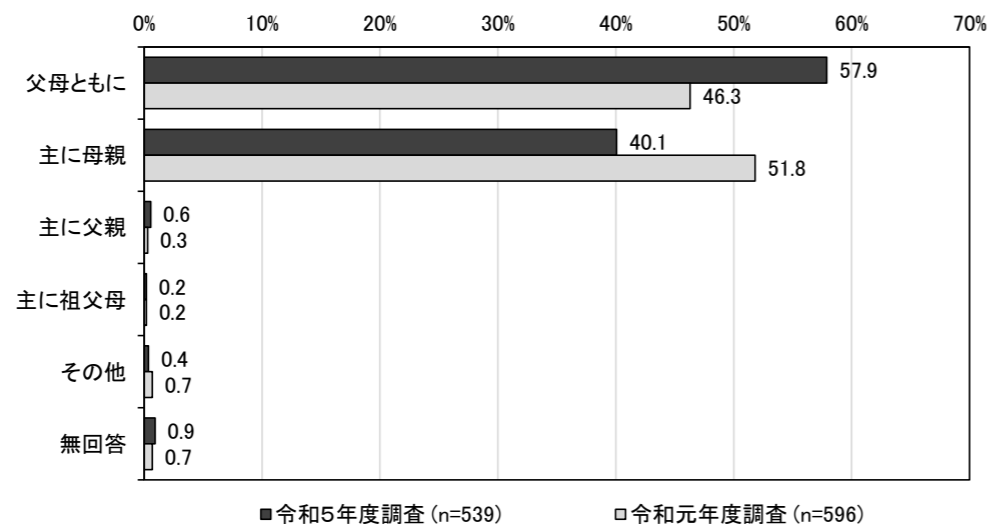


## I 就学前児童の保護者調査

### 2 お子様とご家族のことについて

#### (5) 主に子育てをしている人

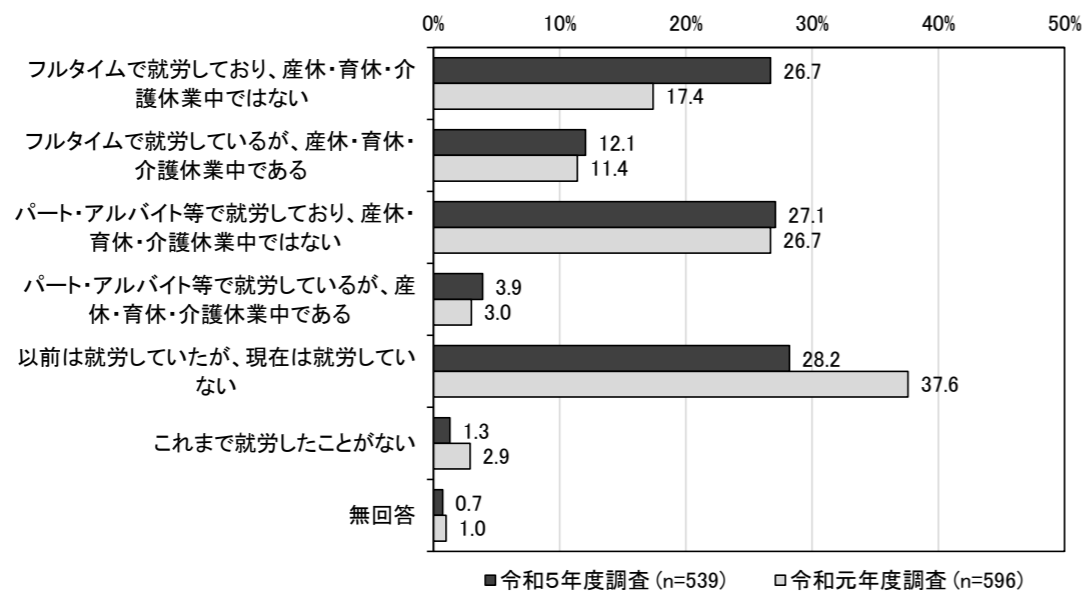
家庭での子育て(教育を含む)を行っているのは、「父母ともに」(57.9%)が最も多く、前回調査時(46.3%)より11.6ポイント増加しています。今後もさらなる父親の子育てへの参加促進が重要です。



### 4 保護者の就労状況について

#### (1) 母親の就労状況

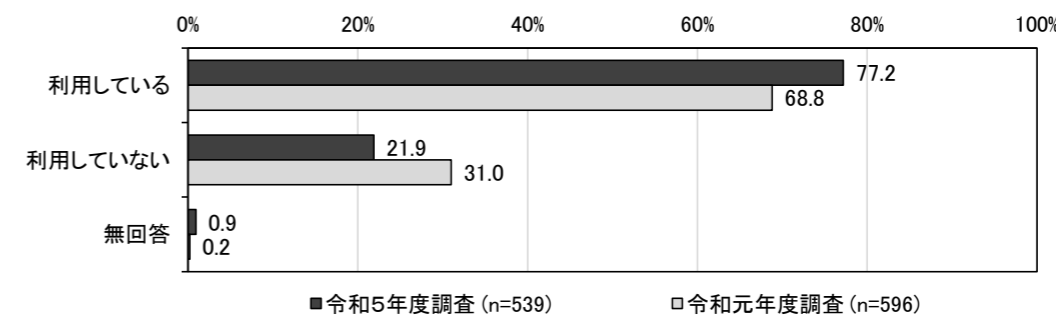
就労している母親は、69.8% (前回調査時 58.5%) と、前回調査時より 11.3 ポイント増加しています。



### 5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

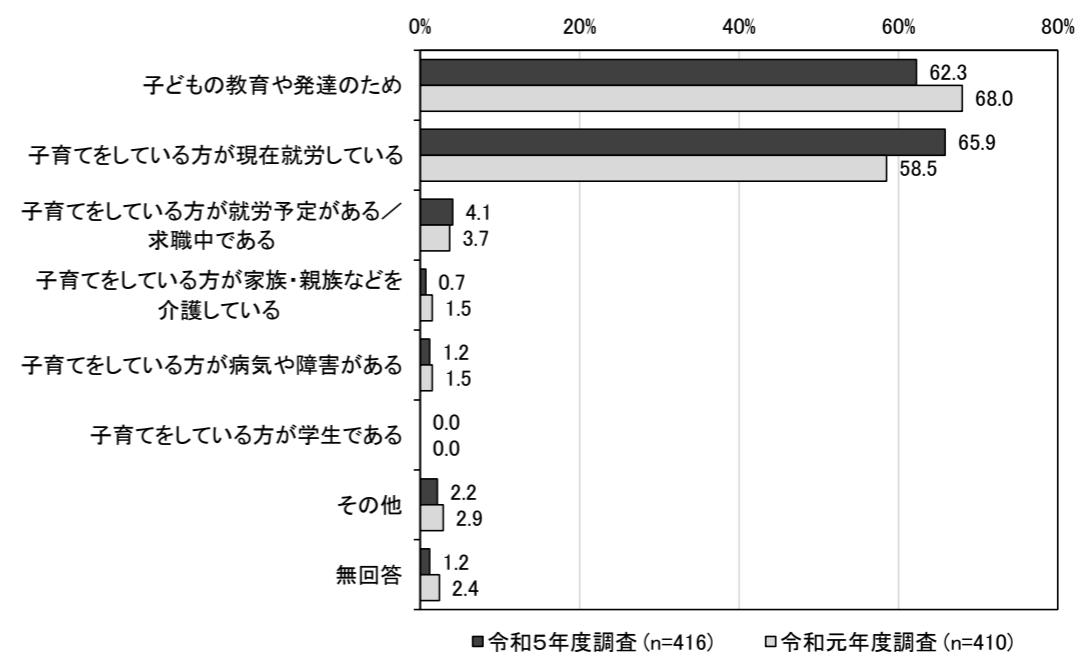
#### (1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

幼稚園や認可保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況は、「利用している」の割合が77.2% (前回調査時 68.8%)、「利用していない」の割合が21.9% (前回調査時 31.0%) と、利用している割合は前回調査時より8.4ポイント増加しています。



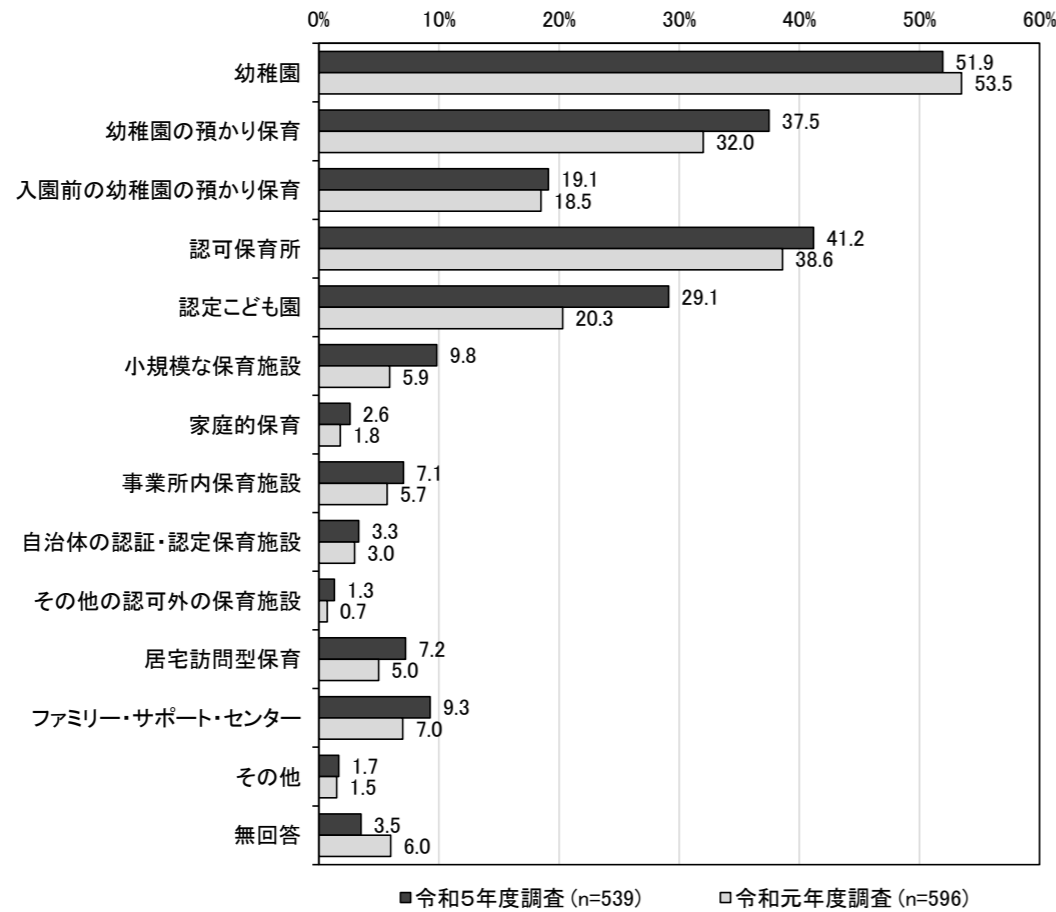
#### (5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由として「子育てをしている方が現在就労している」の割合が65.9%と、前回調査時(58.5%)より7.4ポイント増加しており、今後、保護者の就労状況や子育ての環境を考慮した上で、教育・保育ニーズの必要量の把握が必要です。



## (7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「幼稚園」が51.9%（前回調査時53.5%）で最も多くなっていますが、前回調査時よりは1.6ポイント減少しています。一方、「認可保育所」は41.2%（前回調査時38.6%）、「認定こども園」は29.1%（前回調査時20.3%）と、前回調査時よりそれぞれ増加しています。



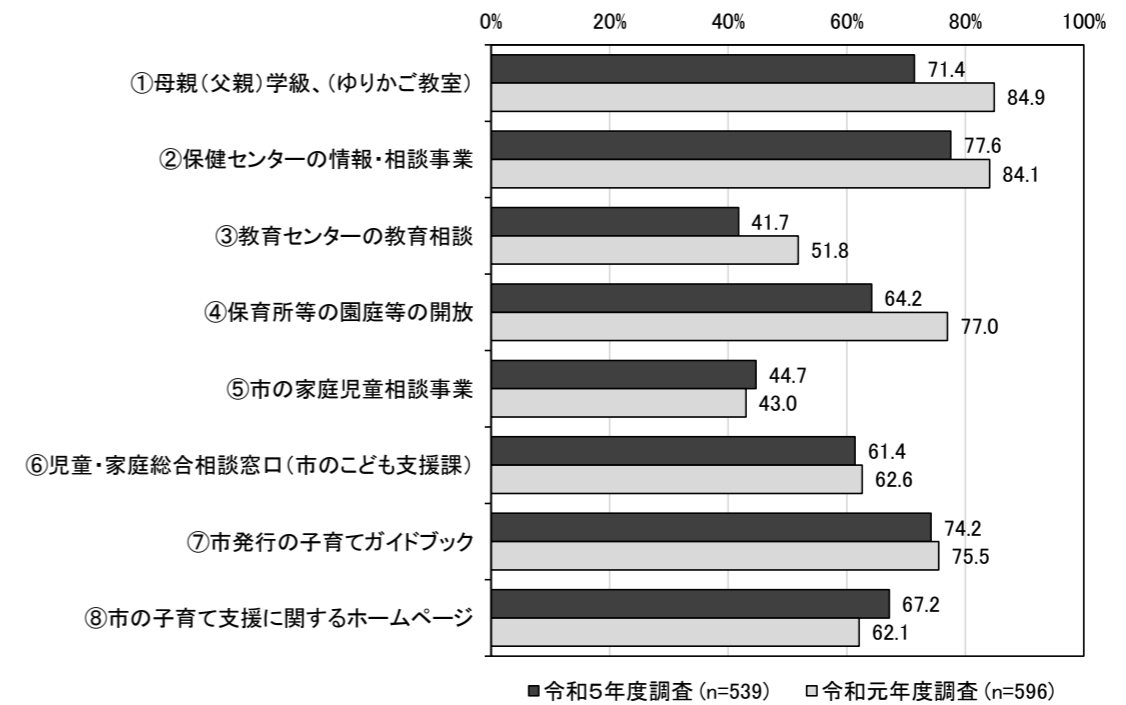
## 6 地域の子育て支援事業の利用状況について

### (3) 各種事業の認知度

市で行っている各種事業の認知度は、「保健センターの情報・相談事業」（77.6%）、「市発行の子育てガイドブック」（74.2%）、「母親（父親）学級、（ゆりかご教室）」（71.4%）の認知度が高くなっています。一方、「教育センターの教育相談」（53.8%）、「市の家庭児童相談事業」（51.8%）、「児童・家庭総合相談窓口（市のこども支援課）」（34.3%）は、認知度が低いことから各種事業の周知および利用促進を推進する必要があります。

なお、前回調査時より認知度の向上がみられたのは、「市の家庭児童相談事業」と「市の子育て支援に関するホームページ」のみとなっています。

#### ■「はい（知っている）」の割合

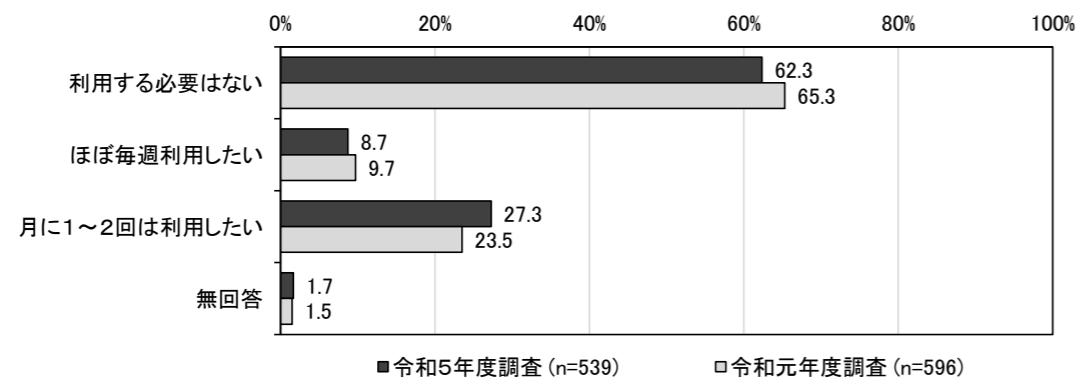


## 7 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

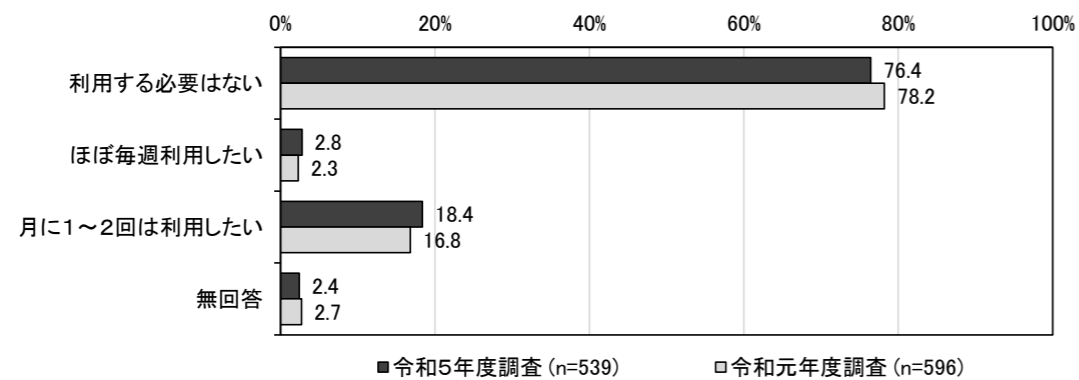
### (1) (2) 定期的な教育・保育の事業の土曜日、日曜・祝日の利用希望

定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が27.3%（前回調査時23.5%）、「ほぼ毎週利用したい」が8.7%（前回調査時9.7%）で合計36.0%（前回調査時33.2%）、日曜・祝日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が18.4%（前回調査時16.8%）、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%（前回調査時2.3%）で合計が21.2%（前回調査時19.1%）となっていることから、現状の利用状況や利用希望を踏まえ、対応を検討する必要があります。

#### ■土曜日



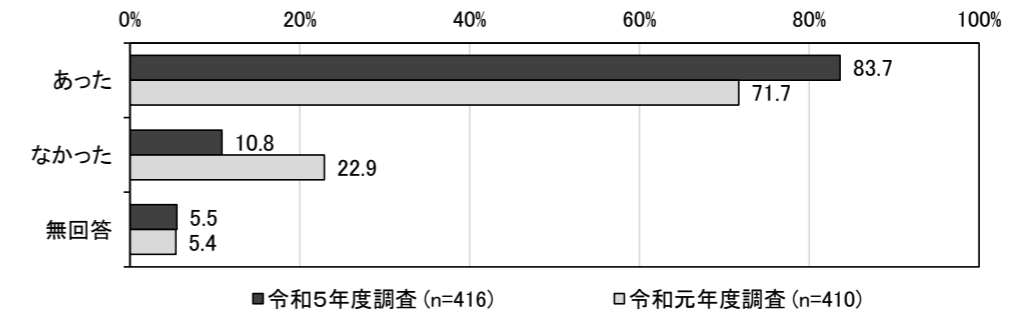
#### ■日曜・祝日



## 8 お子様の病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方のみ】

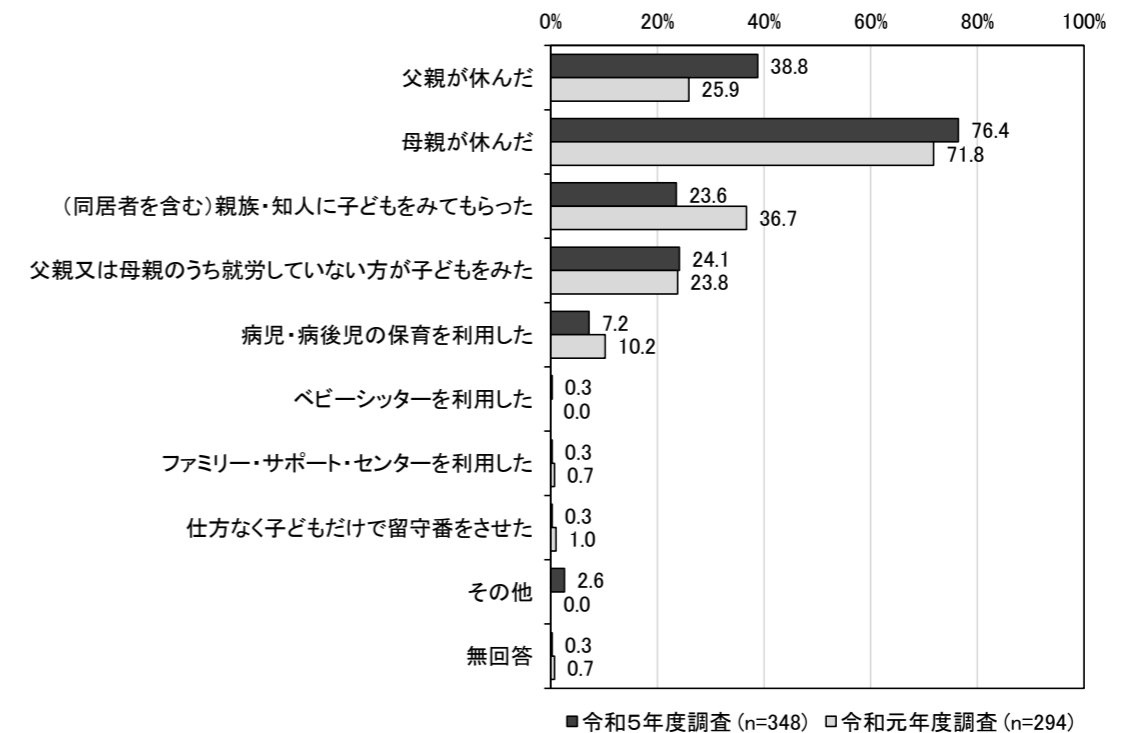
### (1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

子どもが病気やケガのために通常の教育・保育事業を利用できず、特別な対応をとる必要が「あった」割合が83.7%と前回調査時（71.7%）より12.0ポイント増加しています。



### (2) 事業が利用できなかった場合の対処方法

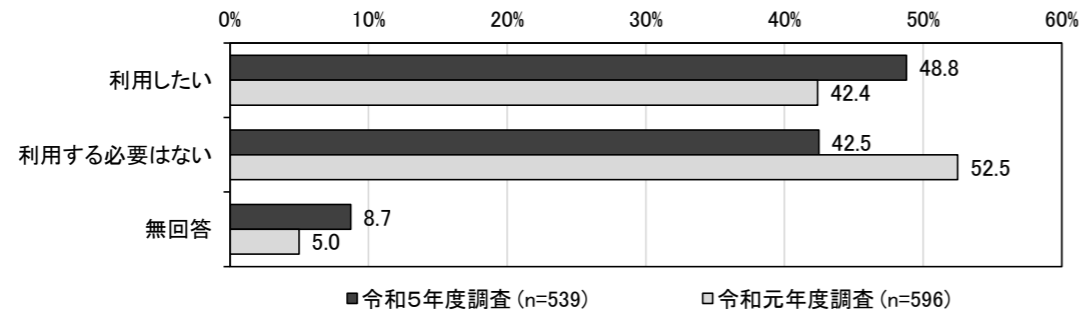
事業が利用できなかった場合の対処方法として「母親が休んだ」割合が76.4%と前回調査時（71.8%）より4.6ポイント増加しています。なお、「父親が休んだ」割合（38.8%）も前回調査時（25.9%）より12.9ポイント増加しています。



## 9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### (3) 私用等の目的での事業の利用希望

私用等の目的での事業利用について、利用意向は 48.8%（前回調査時 42.4%）と、前回調査時より 6.4 ポイント増加しています。

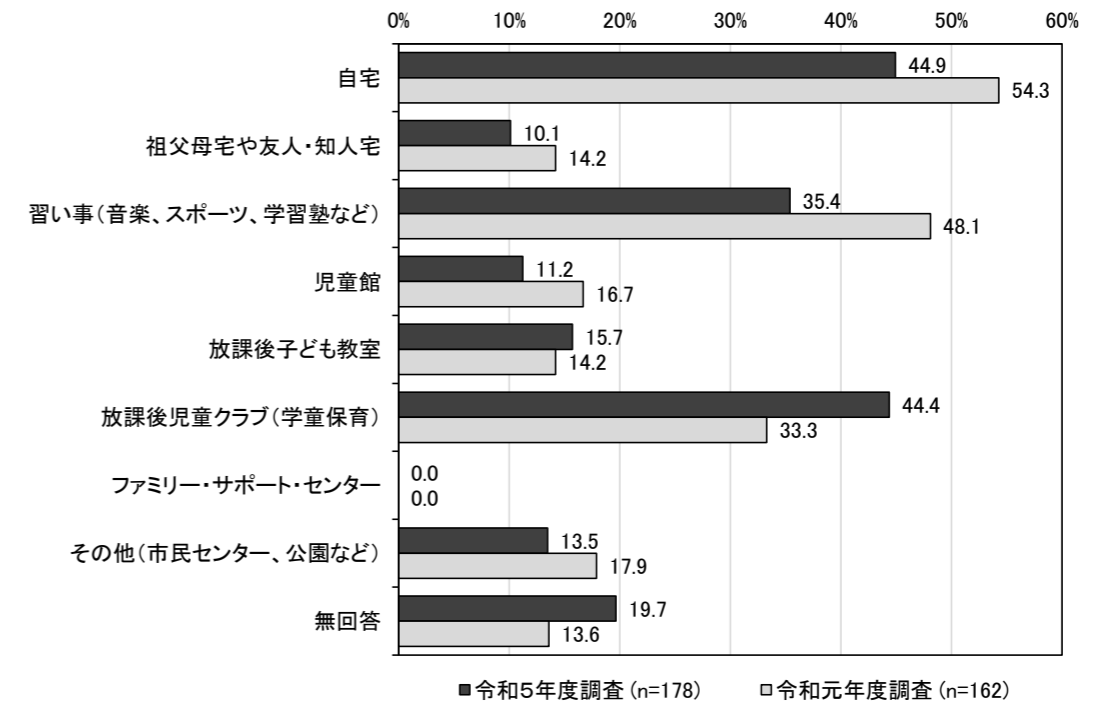


## 10 小学校就学後の放課後の過ごし方について【お子様が5歳以上である方】

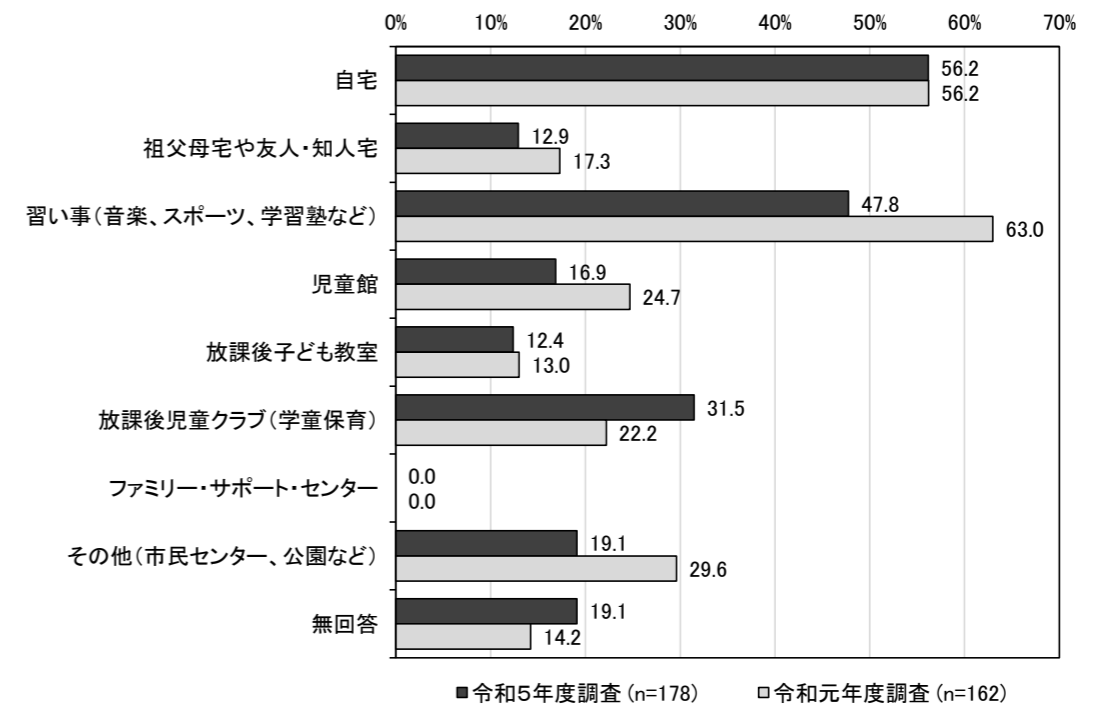
### (1) (2) 希望する放課後の過ごし方

「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用意向は、低学年が 44.4%（前回調査時 33.3%）、高学年は 31.5%（前回調査時 22.2%）と、前回調査時よりそれぞれ 10 ポイント前後増加しており、今後もニーズの把握が必要です。なお、高学年になると利用意向が減少しており、反対に、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の利用意向は高学年になると伸びています。

#### ■低学年



#### ■高学年

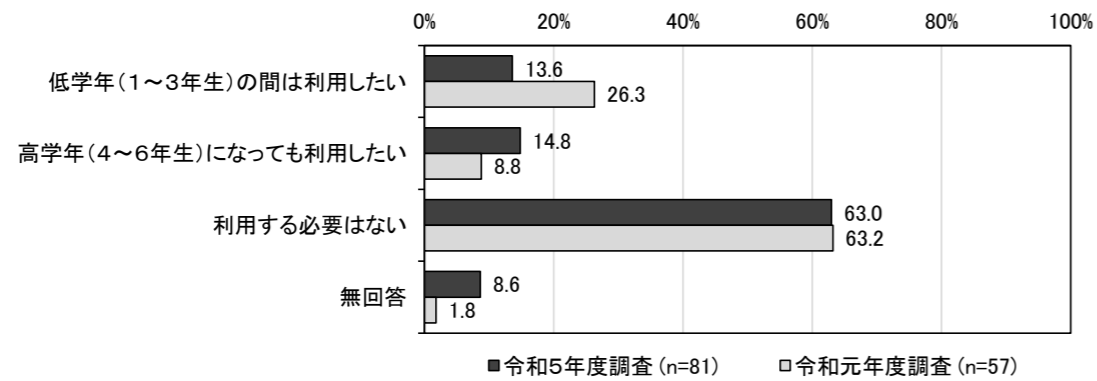


### (3) (4) 土曜日、日曜・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

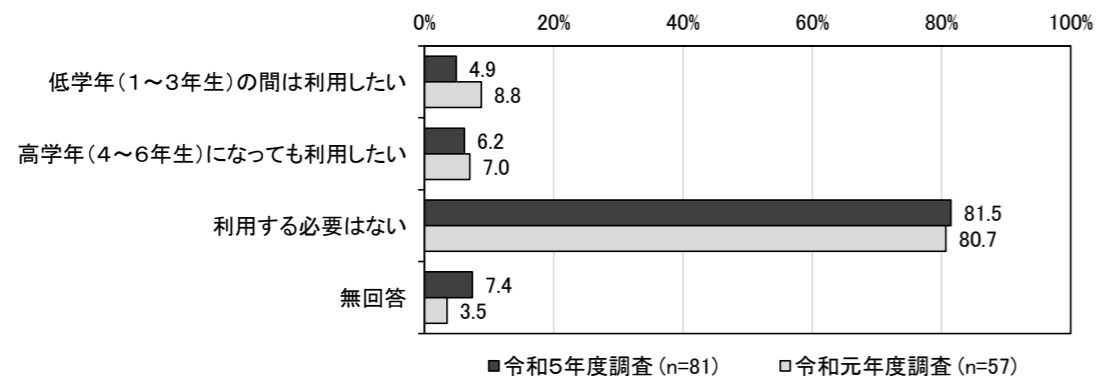
土曜日、日曜・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用する必要はない」が最も多くなっています。

土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（13.6%）は、前回調査時より 12.7 ポイント減少しているのに対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（14.8%）は、前回調査時より 6.0 ポイント増加しています。

#### ■土曜日



#### ■日曜・祝日

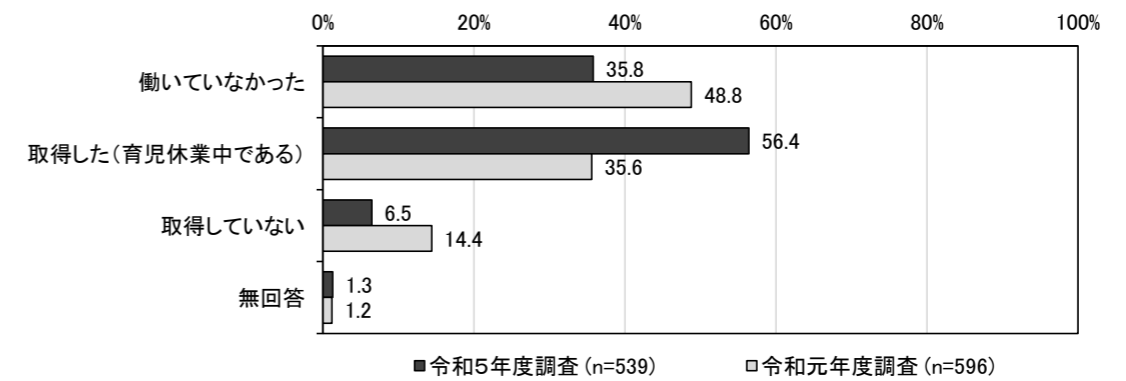


## 11 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

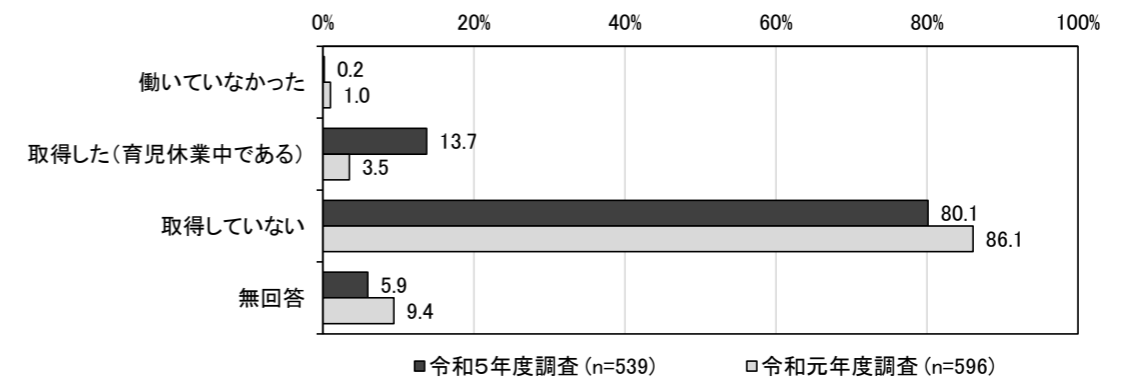
### (1) (2) 育児休業の取得状況

育児休業の取得は、母親が 56.4%（前回調査時 35.6%）、父親が 13.7%（前回調査時 3.5%）と、母親、父親ともに前回調査時より 10 ポイント以上増加しています。それに伴い、取得していないという方も前回調査時より減少していますが、父親に関しては依然として約 8 割が取得していないのが現状となっています。

#### ■母親



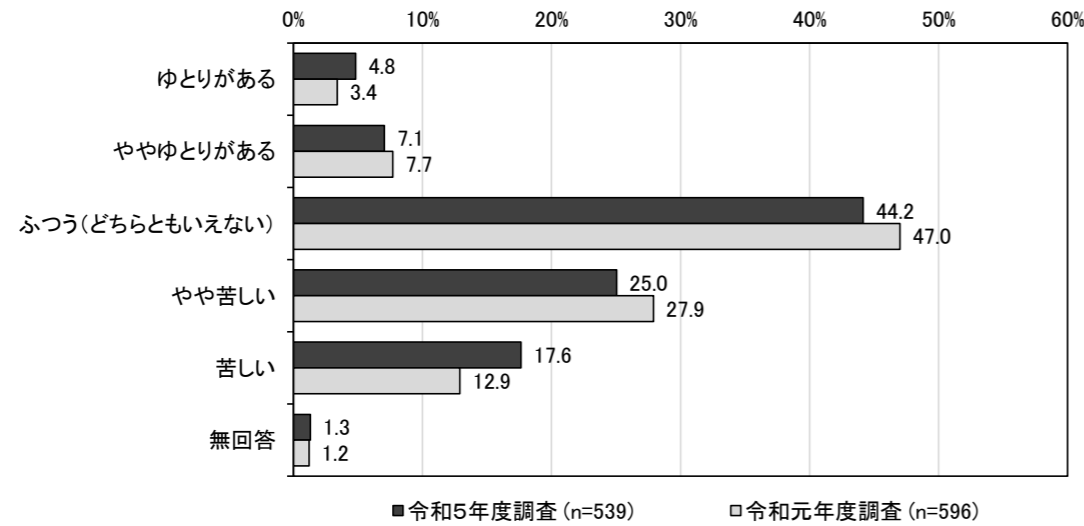
#### ■父親



## 12 子どもを育てるための経済的な負担について

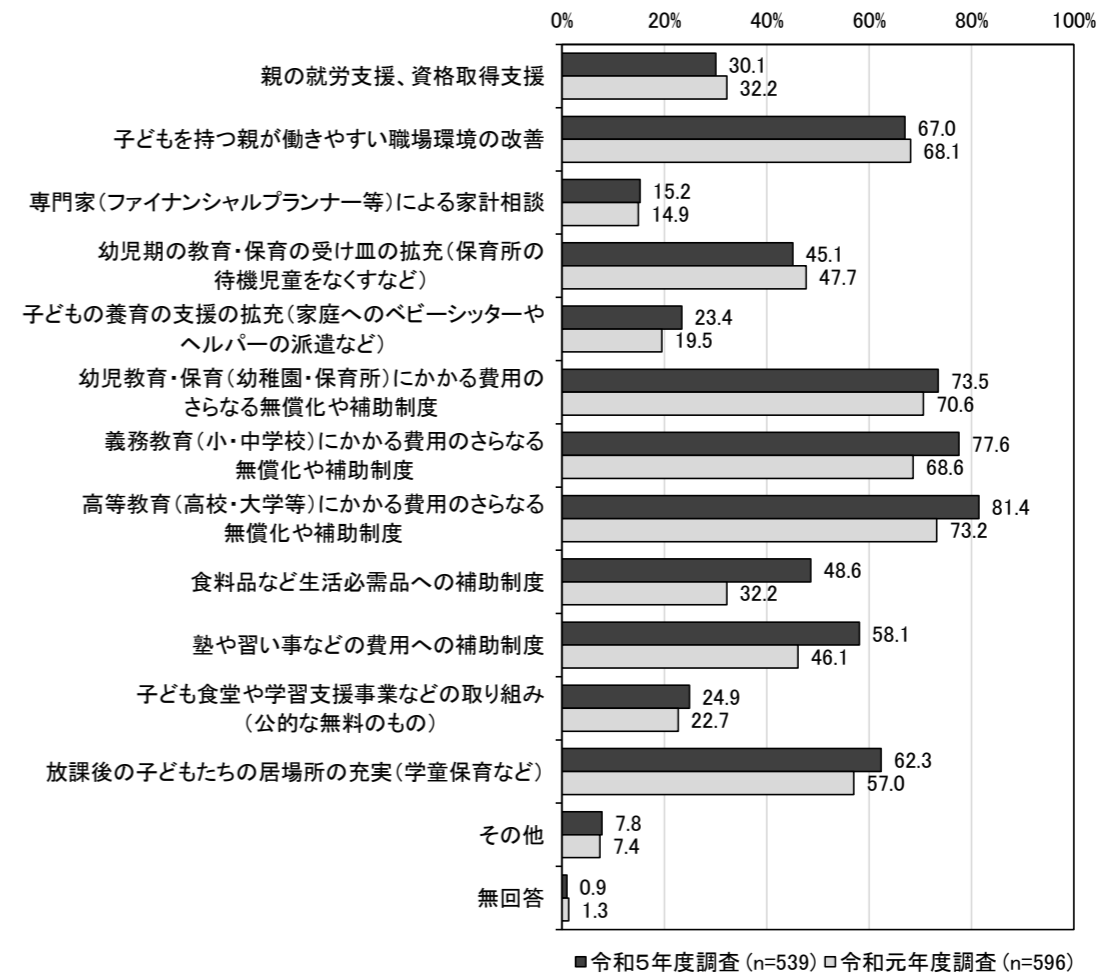
### (1) 現在の経済状況（家計状況）について

現在の経済状況（家計状況）については、「ふつう（どちらともいえない）」が44.2%（前回調査時47.0%）、『苦しい』が42.6%（前回調査時40.8%）、『ゆとりがある』が11.9%（前回調査時11.1%）となっています。



### (3) 子どもを育てていくための生活支援制度について

望まれる生活支援制度は、幼児教育・保育や義務教育・高等教育にかかる費用のさらなる無償化や補助制度や、生活必需品・塾や習い事などの費用への補助制度といった経済支援に関する項目が前回調査時より増加しています。

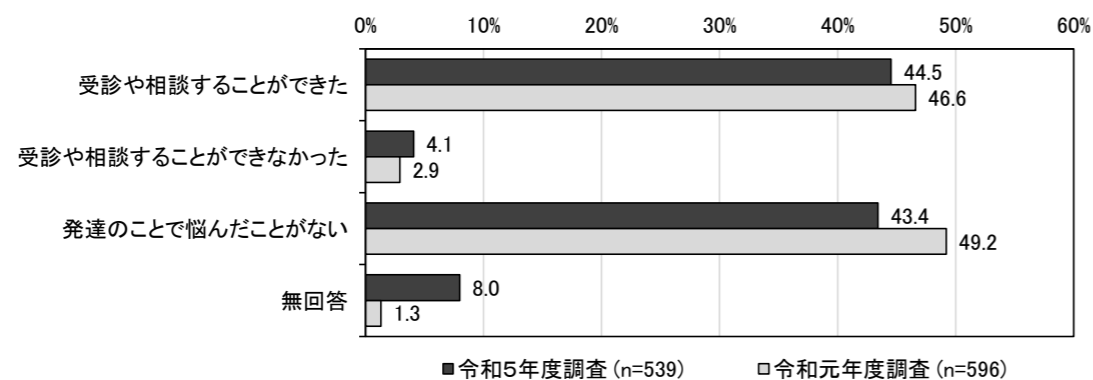


### 13 子育て支援施策全般について

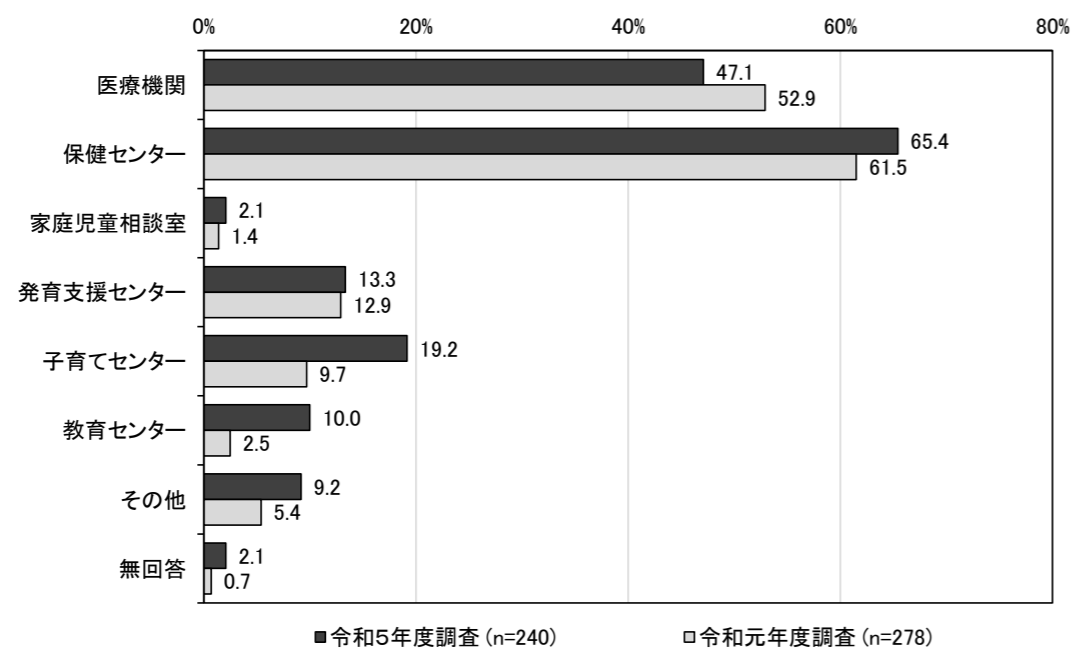
#### (1) 発達の悩みについての相談

子どもの発達の悩みがあって悩んだとき、医療機関や公共機関に受診や相談をしたかについては、「受診や相談することができた」が44.5%（前回調査時46.6%）となっています。

受診や相談をした人の相談先では、「保健センター」が65.4%、「医療機関」が47.1%、「子育てセンター」が19.2%、「発育支援センター」が13.3%となっていることから、「保健センター」の対応が重要となっています。



#### ■受診先・相談先



## II 学童保育利用児童の保護者調査

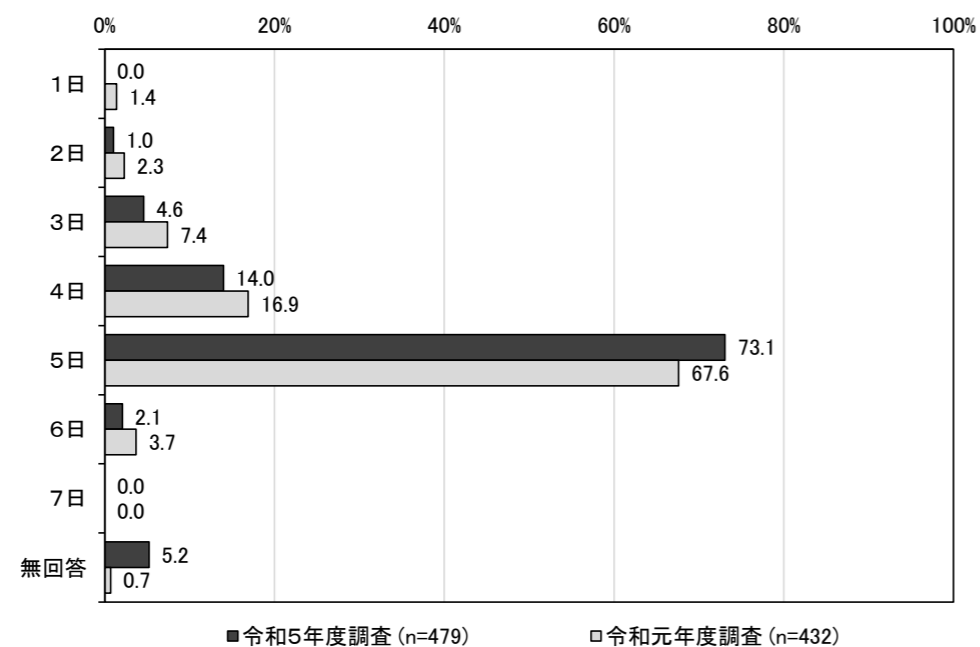
### 2 平日の定期的な学童保育の利用状況について

#### (1) 平日の学童保育の利用状況

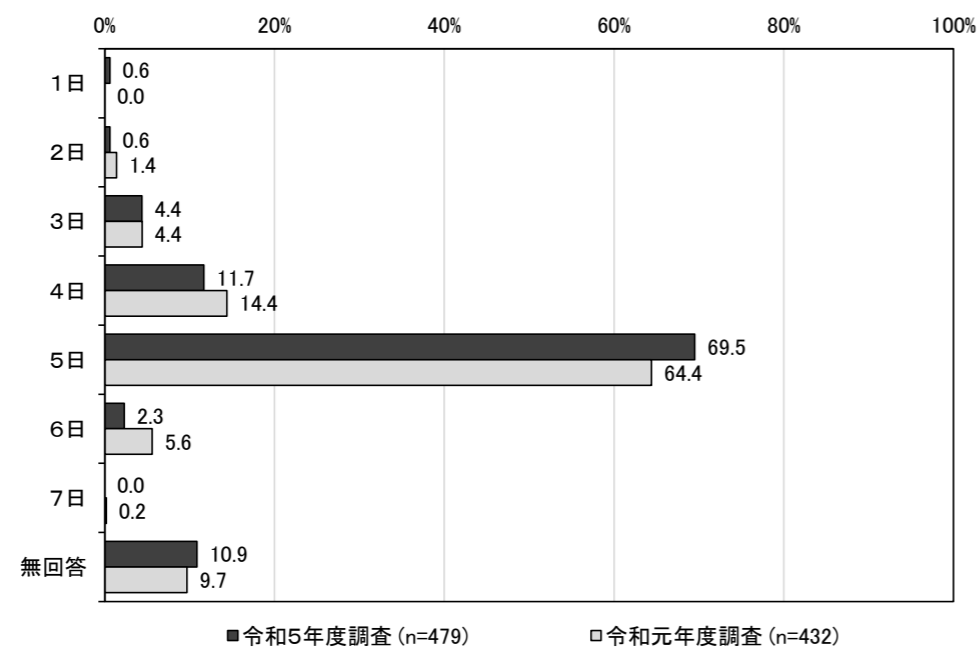
学童保育の利用は、現在の利用日数も希望の利用日数も、ともに「5日」が最も多く、前回調査時と比較してもそれぞれ5ポイント以上増加しています。

#### ■ 1週あたりの利用日数

##### 【現在】



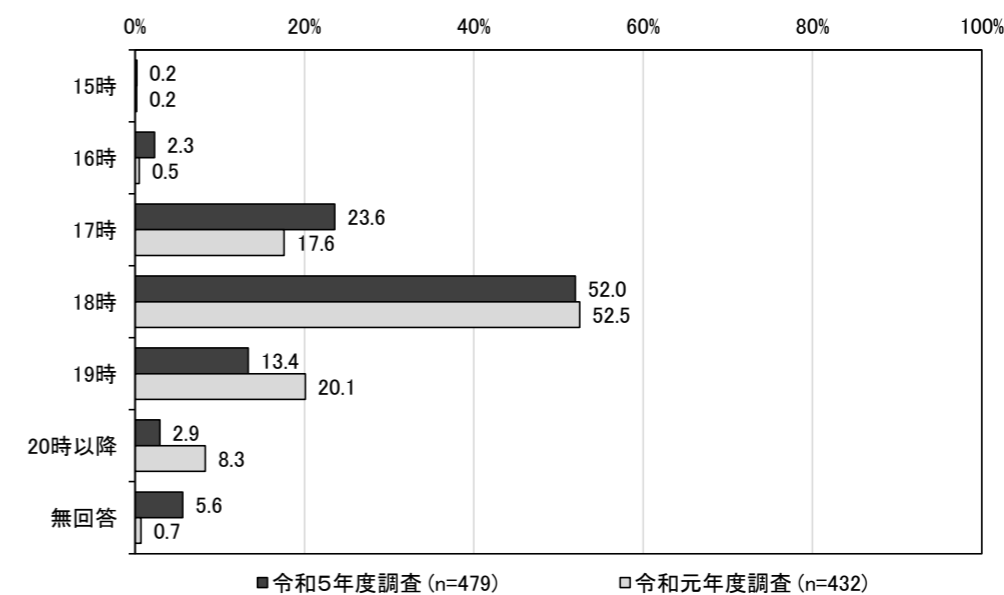
##### 【希望】



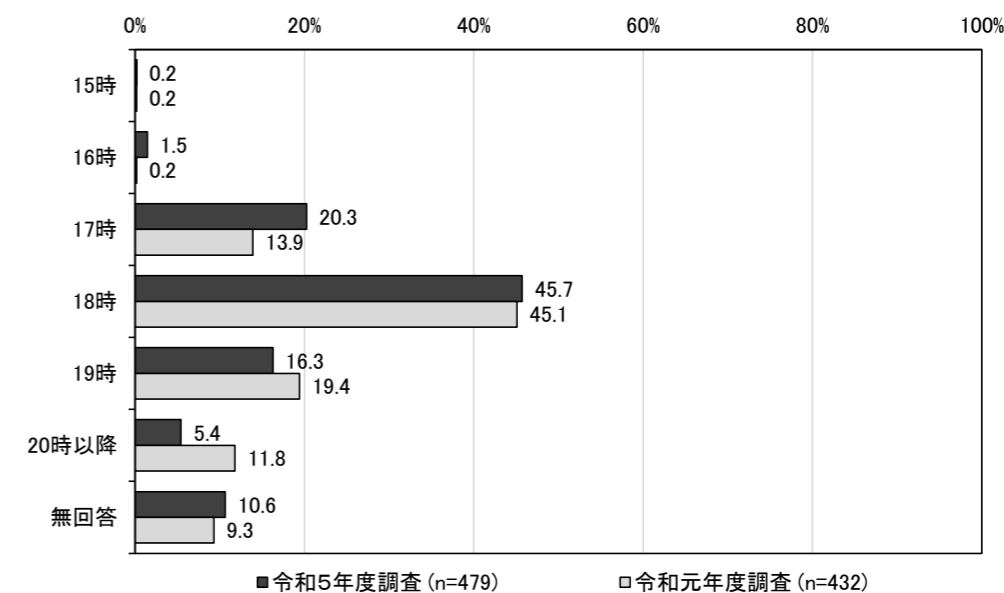
利用時間（下校時から）は、現在の利用時間も希望の利用時間も、ともに「18時」となっており、前回調査時とは大きな差はみられません。なお、現在の利用時間も希望の利用時間も18時より前の割合は前回調査時より増加しており、19時以降の割合は前回調査時より減少しています。

#### ■ 利用時間（下校時から）

##### 【現在】



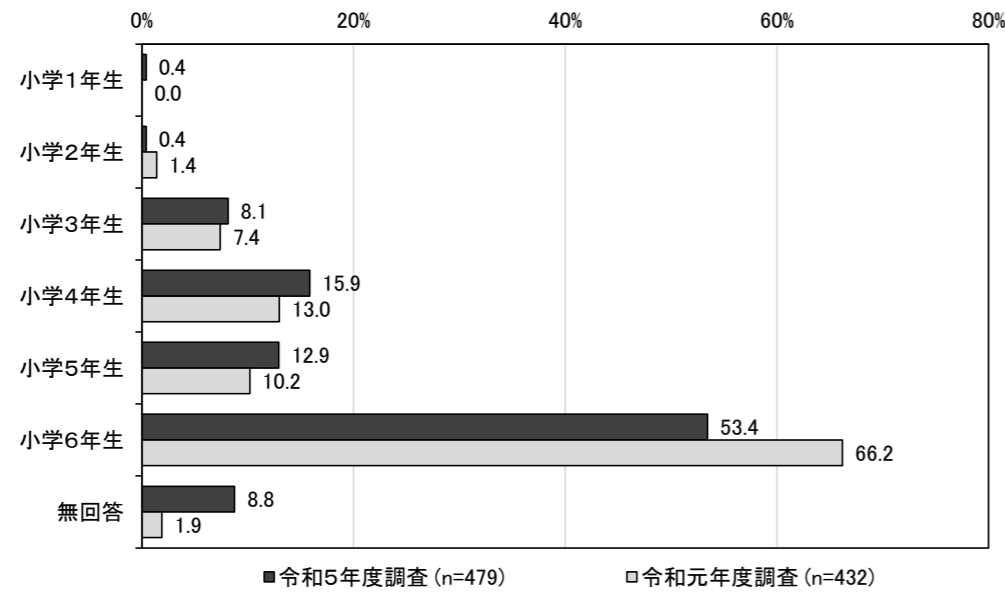
##### 【希望】





### (3) 学童保育の利用希望学年

学童保育を何年生まで利用させることを希望しているかでは、「小学6年生」が53.4%（前回調査時66.2%）で最も多くなっていますが、前回調査時よりは12.8ポイント減少しています。学年ごとの利用状況を考慮した利用ニーズへの対応が必要です。

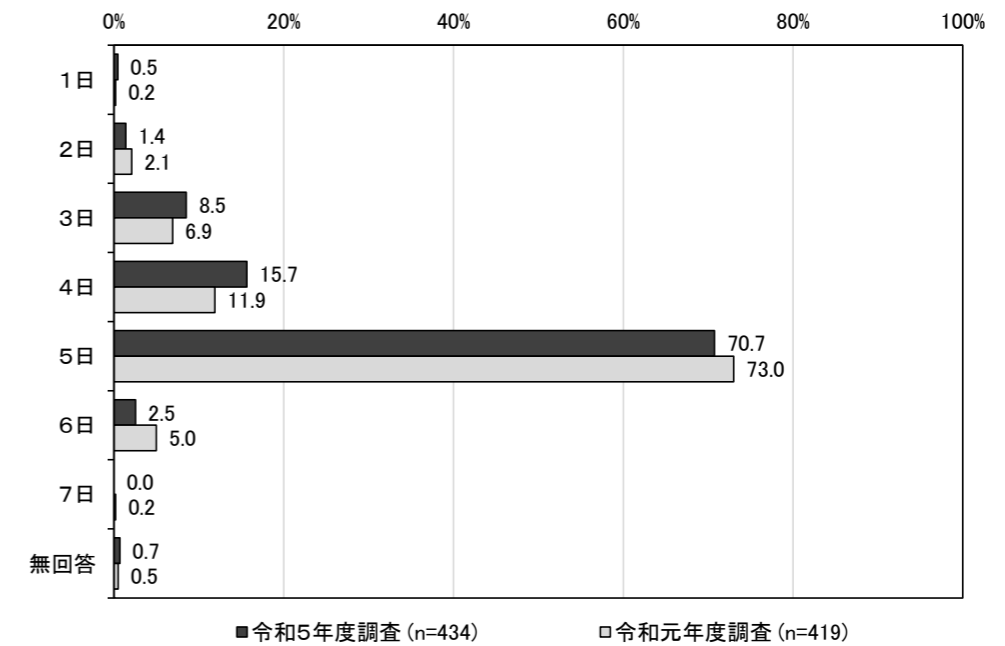


### (6) 長期休暇中の学童保育の利用状況・利用希望

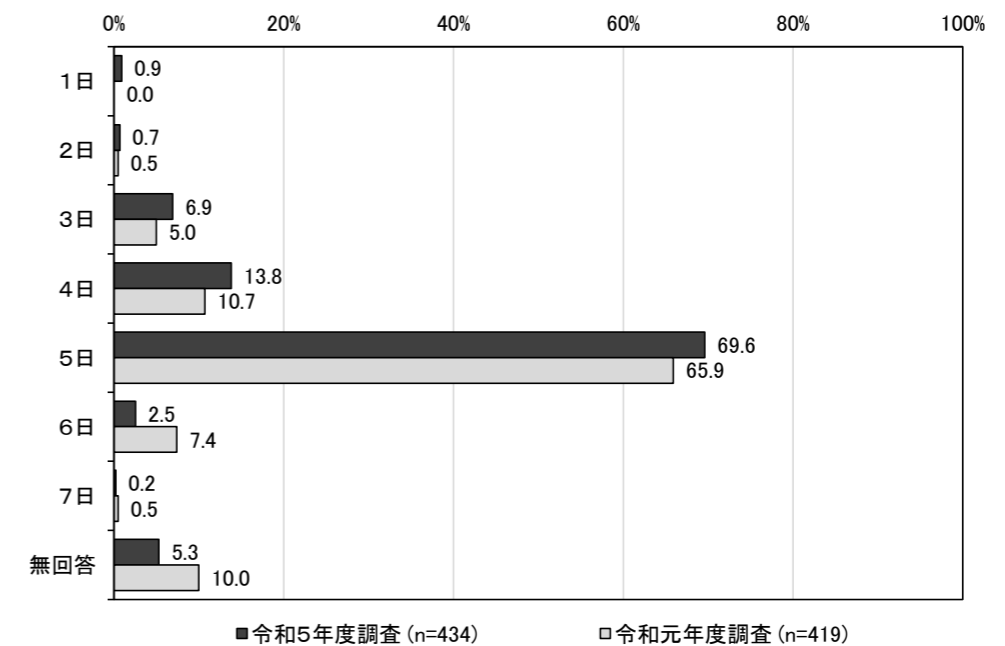
長期休暇中の学童保育の利用状況・利用希望は、1週あたりの利用日数では、現在は「5日」が70.7%（前回調査時73.0%）、希望でも「5日」が69.6%（前回調査時65.9%）で最も多くなっているため、今後も利用ニーズを把握し、対応が必要です。

#### ■ 1週あたりの利用日数

##### 【現在】



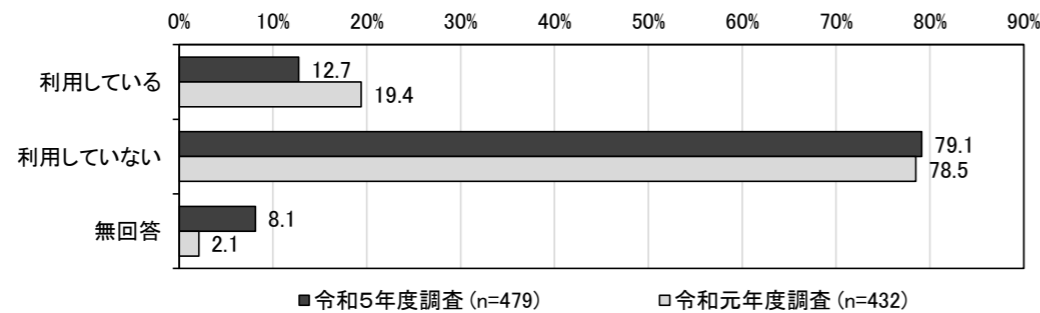
##### 【希望】



## 3 土曜・休日や長期休暇中の定期的な学童保育の利用希望について

### (1) 土曜日の学童保育を利用しているか

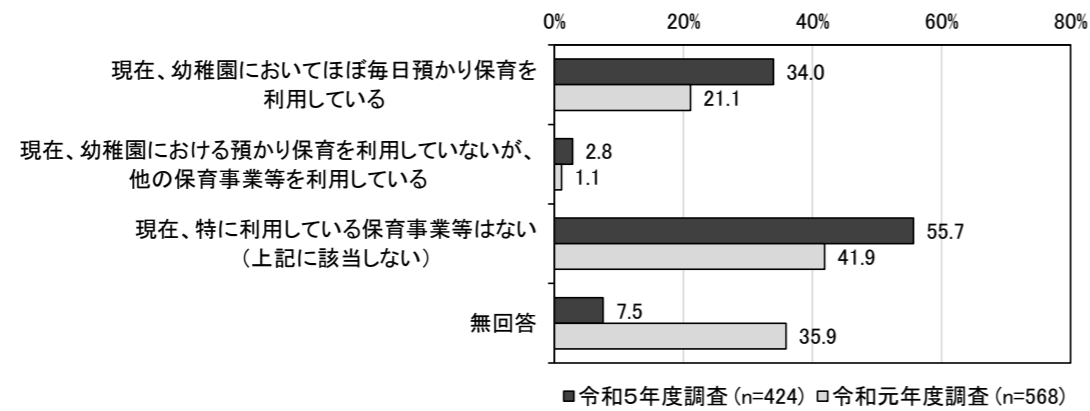
土曜日の学童保育の利用状況は、「利用している」が12.7%（前回調査時19.4%）と、前回調査時より6.7ポイント減少しています。



### Ⅲ 私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査

#### (8) 幼稚園の預かり保育の利用状況

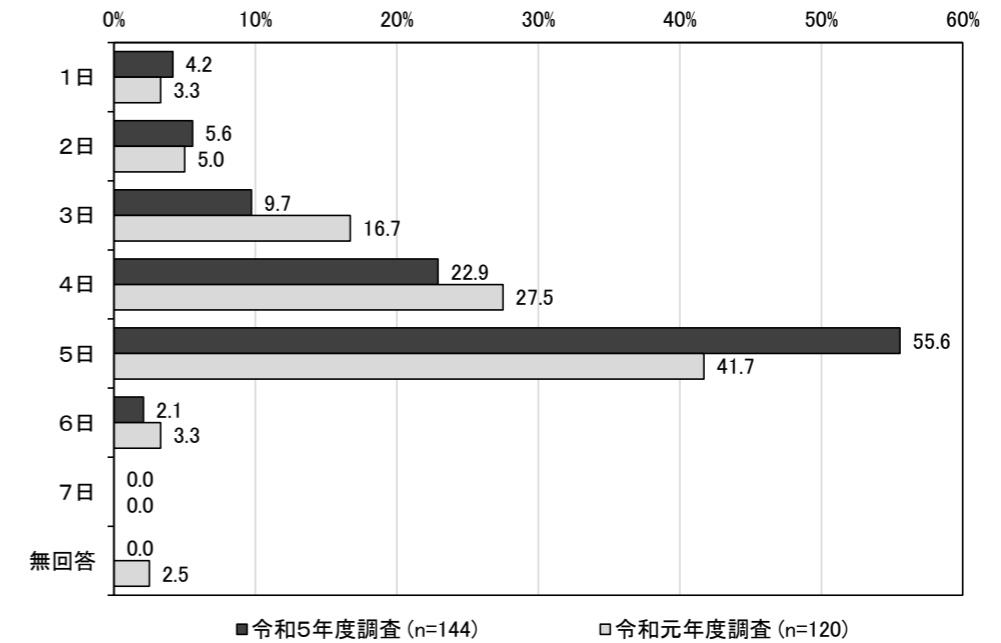
現在の幼稚園における預かり保育の利用状況は、「現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」が34.0%（前回調査時21.1%）と、前回調査時より12.9ポイント増加しています。



#### (9) 預かり保育の利用日数・利用時間

預かり保育を利用している人の1週あたりの利用日数は、「5日」が55.6%（前回調査時41.7%）で最も多く、前回調査時より13.9ポイント増加しています。また、1日あたりの利用時間は、「4時間未満」が63.9%（前回調査時49.2%）で最も多く、前回調査時より14.7ポイント増加していることから、利用日数は増加し、利用時間は減少している傾向がみられます。引き続き、幼稚園の預かり保育についても、利用者のニーズを見極めつつ、安心して預けられる環境を整えていく必要があります。

##### ■ 1週あたりの利用日数



##### ■ 1日あたりの利用時間

